

編集後記

技術発表会は今回で14回目となりました。技術部は昨年12月1日に組織を再編成し、より機動的に業務依頼を受けられる体制にいたしました。とにかくすべてのメンバーが業務依頼を50%おこなえる体制を作ることが当面の目標です。

昨年度は、技術部の機器・分析グループが放射性物質を除き、全学の作業環境測定業務を行うことを始めました。前期分の測定は無事終え、現在、後期分の測定に取りかかっています。放射性物質についても、資格上は3名試験合格し、登録講習会も終え2名も登録講習待ちの状態です。ですから測定装置さえ完備されればいつでも測定業務を開始できる状態にあります。また、アスベスト関連の測定も資格上は5枚全員有り、現在必要機器を購入する予定をしています。とにかく作業環境測定については、いち早く工学部技術部として、理事会に自前測定を提案して取り組んできたことなので、全国的にも注目され、去年は、文科省関連の文教ニュースでも紹介されました。そのことも有ってか、名古屋工業大学、岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、琉球大学等から当技術部の測定方法を知りたいと、技術職員の方2名が見学にこられました。この点については大いに自負しても良いと思います。

技術の集約化が進む今日、新しい技術を習得したり、経験から得た教訓を技術職員同士で交流したりすることが益々必要になっています。それぞれの得た経験を、共通の認識に高める場として、このような技術発表会の意義も以前にも増してさらに強まるものと思われれます。

今回の発表では、昨年に引き続き他大学の発表が1件、学内では、生物資源学部の発表を含め、11件の発表がありました。

最後に、特別講演を快く引き受けてくださった五十君清司教授、他大学からの発表者として、名古屋工業大学の坂井孝弘さん、さらに他学部を含め発表していただいた技術職員の方々に対して、紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。

2006年1月 市川貴之

技術部研修委員会委員長	市川 貴之
副委員長	山本みどり
委員	中口 敏
委員	上野 素裕
委員	村井 健一
委員	梅田 直明
委員	田村 雅史

技術報告集 第14号

(2006年1月発行)

編集・発行

三重大学工学部技術部 研修委員会

住所

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学工学部

電話 059(232)1211代

技術部ホームページ

<http://www.tech.eng.mie-u.ac.jp/tech/>